

様式第2号(第7条関係)

会議の開催結果

1 会議の名称	令和7年度第2回 さいたま市大宮盆栽美術館運営委員会
2 会議の開催日時	令和8年1月29日(木曜日) 午前10時～正午
3 会議の開催場所	さいたま市大宮盆栽美術館 講座室
4 出席者名	小島委員長、大和田副委員長、池田委員、砂生委員、 杉山委員、関根委員、高嶋委員、谷中委員、三輪委員、 森委員
5 欠席者名	なし
6 議題及び公開又は非公開の別	報告 ・大宮盆栽村100周年記念事業について 議事 ・令和8年度大宮盆栽美術館展覧会事業等について (案) (公開又は非公開の別) 公開
7 非公開の理由	—
8 傍聴者の数	0名
9 審議した内容	・令和8年度大宮盆栽美術館展覧会事業等について
10 問合せ先	スポーツ文化局 文化部 大宮盆栽美術館 電話番号 048-780-2091
11 その他	

大宮盆栽村 100 周年記念事業について

大宮盆栽村の開村 100 周年に関連し、当館では、以下のとおり事業を実施しました。

1 大宮盆栽村 100 周年記念企画展「第 34 回作家展(日本盆栽作家協会)」

- (1) 会 期：令和 7 年 4 月 4 日（金）から 4 月 23 日（水）まで
休館日（木曜日）を除く 18 日間
9 時から 16 時半まで
- (2) 会 場：さいたま市大宮盆栽美術館 ロビー・ギャラリー
- (3) 内 容：一般社団法人日本盆栽作家協会との共催により、同協会所属盆栽作家が仕立ててきた格調の高い盆栽を展示
- (4) 来館者数：合計 5,212 人



2 100 周年シンポジウム会場での大宮盆栽展示

- (1) 日 時：令和 7 年 4 月 12 日（土）10 時から 19 時まで
4 月 13 日（日）10 時から 17 時まで
- (2) 会 場：市民会館おおみや(RaiBoC Hall)4 階展示室
- (3) 内 容：4 月 12 日開催の「大宮盆栽村開村 100 周年記念シンポジウム」に合わせ、大宮盆栽村にゆかりのある盆栽を会場に展示(42 点)
- (4) 来場者数：合計 944 人

日付	4/12	4/13
人数	811 人	133 人



3 大宮盆栽村 100 周年記念特別展「緑のフロンティア—大宮盆栽村 100 年—」

- (1) 会 期：令和 7 年 10 月 3 日（金）から 12 月 10 日（水）まで
休館日（木曜日）を除く 60 日間
9 時から 16 時半まで(12 月は 16 時まで)
- (2) 会 場：さいたま市大宮盆栽美術館
ロビー・ギャラリー・企画展示室
- (3) 内 容：盆栽村 100 周年を記念し、盆栽村の歴史を物語る資料と大宮盆栽村の盆栽園の名樹を紹介。
- (4) 刊 行 物：展覧会図録（500 部、1,600 円(税込)）
- (5) 来館者数：合計 22,934 人(夜間特別開館 3,559 人を含む)



4 大宮盆栽村 100 周年記念「大宮盆栽村かるた」の発行

- (1) 販売開始日：令和 7 年 10 月 3 日(金)
 (2) 販売価格：2,000 円(税込)
 (3) 内 容：大宮盆栽村や盆栽について楽しく学べる記念グッズとして、当館のボランティア組織「ミュージアム・サポーター」とともに製作(1,000 個作成)
 (4) 販売数：合計 126 個(令和 7 年 12 月末時点)



販売月	10 月	11 月	12 月
個 数	62 個	42 個	17 個

5 夜間特別開館ライトアップ「BONSAI CANVAS」

- (1) 日 時：令和 7 年 11 月 8 日(土) から 11 月 24 日(月・休) までの金・土・日・休日の 9 日間
 17 時から 20 時まで
 ※11 月 7 日(金)に内覧会を実施
 (2) 会 場：さいたま市大宮盆栽美術館
 (3) 内 容：特別展に合わせ、夜間特別開館を実施し、ライトアップを含む次世代への盆栽文化啓発事業を実施
 (4) 来場者数：合計 3,559 人



日付	11/7	11/8	11/9	11/14	11/15	11/16	11/21	11/22	11/23	11/24
人数	78 人	255 人	101 人	473 人	475 人	399 人	234 人	575 人	564 人	405 人

6 その他

さいたま市ホームページで、さいたま市が実施した大宮盆栽村開村 100 周年関連事業のイベントレポートを公開しています。

掲載場所

トップページ > 観光・スポーツ・文化 > 文化・芸術 > さいたま市の取り組み > 大宮盆栽村開村 100 周年

URL

<https://www.city.saitama.lg.jp/004/005/001/005/index.html>

さいたま市ホームページの「大宮盆栽村開村100周年」ページ。ナビゲーションメニューに「トップページ > 観光・スポーツ・文化 > 文化・芸術 > さいたま市の取り組み > 大宮盆栽村開村100周年」が追加されている。また、記事一覧に「【イベントレポート】お宮さまの盆栽の芸術的価値を「盆栽芸術」大賞展「記念クラフトビジュアル「盆栽アート」も」などの記事が掲載されている。

令和 8 年度 大宮盆栽美術館展覧会事業等について(案)

1 展覧会事業

(1) 通常展 2回

- ・ 季節感を重視し、収蔵品の盆栽、盆器、水石を主に紹介する展示
季節の展示「盆栽展〈四季〉」
- ・ 盆栽及び大宮盆栽村の歴史と文化を紹介するパネル展示及び収蔵資料展示
歴史と文化「盆栽クロニクルー年代記ー」
2026 年は米国立盆栽・盆景園の開園 50 周年（日本盆栽協会による 54 点の盆栽贈呈から 51 年）に当たるため、期間中に同園設立の経緯をまとめたパネル展示を実施。

(2) 企画展 6回

- ・ 盆栽関連団体との共催展
「第 35 回作家展（日本盆栽作家協会）」
※通例 3 週間展示に加え、山田登美男会長の米寿記念個展席として 1 週を追加。
- ・ 季節感を念頭に、当館所蔵品には少ない樹種等の特集展示
「さつき盆栽展」
- ・ 盆栽と関連する水石、盆石等の縮景表現に関する特集展示
「水石展」、「盆石展」（仮称）
- ・ 子ども向け展示（夏季）
「夏休み子どもぼんさい美術館」※大幅リニューアルを予定。
- ・ 盆栽文化または植物をテーマとした展示
「水石／類推の山—大和田良写真展」（仮称）※新規（単発）
ルネ・ドーマル（フランス、1908～1944）によるシュルレアリスム小説『類推の山』（作者没後、未完のまま 1952 年初版刊行。冒険小説。）にインスピレーションを受け、水石をモチーフに壮大な山容などを見出そうとする写真家・大和田良（1978～）による創作写真作品の初公開展。

(3) 特別展 1回

盆栽文化に関するテーマを設け、主に外部団体等の借用品による大規模展
「大宮盆栽 101（新世紀）—New Explorers—」（仮称）

2025 年の開村 100 周年を経て、大宮盆栽村は 2026 年に 101 年目の新たな年を迎える。本展では、これからの大宮盆栽の 100 年に向け、大宮盆栽の伝統と技術、文

化をつなぎ、新たな一步を踏み出す次世代の盆栽家を取り上げ、大宮盆栽の向かう先を世界に問う試みとしたい。

登用する盆栽家は、大宮盆栽村及びさいたま市内で修業し、盆栽界で活躍をはじめている人材、また、修行の過程ではあるが、新たな才能として認められる若手人材とし、それぞれの作品を作者の哲学、意図とともに紹介する。

【招聘候補の盆栽家】五十音順（13人）

- ・磯部皐嗣（磯部緑園所属、緑区、磯部緑園出身）
- ・木村 剛（盆栽かへるで園主、大宮区、蔓青園出身）
- ・熊木勝裕（桜花苑園主、緑区、熊木園（蔓青園支店出身）出身）
- ・小棚明生（大宮盆栽美術館所属、芙蓉園出身）
- ・斎藤大雅（盆栽大野所属、見沼区、盆栽大野出身）
- ・斉藤真之（鉢乃木屋園主、岩槻区、清香園出身）
- ・ジョーンズ アダム（Tree House Bonsai 園主、茨城県阿見町、蔓青園出身）
- ・中村慎太（大宮盆栽美術館所属、清香園出身）
- ・平尾成志（成勝園園主、西区、蔓青園出身）
- ・廣田敢太（藤樹園園主、盆栽町、藤樹園出身）
- ・村田行雄（九霞園園主、盆栽町、九霞園出身）
- ・山田香織（清香園5代目、彩花盆栽教室主宰、盆栽町、清香園出身）

【関連事業】

- ・座談会
- ・共作デモンストレーション

【刊行物】

- ・図録（BONSAIENCE：3Dデータ付き）

通常展、企画展、特別展一覧

展覧会名	会期	G	企
(1) 通常展			
季節の展示「盆栽展〈四季〉」	34週	○	
歴史と文化「盆栽クロニクル—年代記—」 ①所蔵品展、米国立盆栽盆景園開園50周年記念パネル展 ②パネル展のみ ③所蔵品、新規収蔵品展	①4月3日(金) ～7月1日(水) ②9月12日(土) ～10月7日(水) ③12月19日(土) ～令和9年3月31日(水)		○

(2) 企画展			
「さつき盆栽展」	5月22日(金) ～5月31日(日)	○	
「水石展」(仮称)	7月17日(金) ～8月26日(水)	○	
「夏休み子どもぼんさい美術館」	7月18日(土) ～8月26日(水)		○
「盆石展」(仮称)	9月4日(金) ～9月16日(水)	○	
「水石／類推の山一大和田良写真展」(仮称)	10月24日(土) ～11月29日(日)		○
「第35回作家展(日本盆栽作家協会)」	10月30日(金) ～11月25日(水)	○	
(3) 特別展			
「大宮盆栽101(新世紀)―New Explorers」(仮称)	2月5日(金) ～3月3日(水)	○	

※G: コレクションギャラリー／企: 企画展示室

2 普及事業

(1) 定例講座

- ・子ども向けワークショップ 第3日曜・1回(定員10組)※4、5、10、11、2、3月のみ
- ・盆栽実技 第4土曜・1回(定員30人)
- ・ギャラリートーク 第1日曜、第3土曜・各1回

(2) 特別講座等

- ・夏休みワークショップ 7月～8月、全10回(定員各12組)
- ・企画展特別展関連講座、講演 「さつき盆栽展」、「盆石展(仮称)」、特別展
- ・名樹継承プログラム 所蔵盆栽の挿し木による繁殖プロジェクト
(挿し木苗による盆栽ワークショップを実施)
- ・出張講座、講演 随時(盆栽講座は8月を除く月1回程度対応)

(3) 学校連携

- ・小学校校外学習の受入れ(※バス借上事業:1月募集終了・4校 ※1月22日時点)
- ・小中学校、高校へのお出張授業(随時)
- ・埼玉県立高等学校盆栽作品展(11月予定)
- ・さいたま市立土呂中学校盆栽授業選抜作品展(令和9年3月予定)
- ・中学生職場体験事業、教員研修、博物館見学実習の受入れ(随時)

(4) ミュージアム・サポーター（ボランティア組織）の育成、運営

・登録者

33人（※継続希望者数）、新規若干名（※4月以降に募集開始）

・活動内容

①ガイド（ウェルカムミュージアム！、GWガイドツアー、団体ガイド）

②学校見学の対応

③ワークショップ補助

④資料整理

⑤出張盆栽ワークショップ講師、補助

※さいたま国際盆栽アカデミー補助活動は、外部委託の運用により廃止。

・サポーター研修〔定例研修（月1回）、OJT研修（随時）〕

3 その他

(1) イベント事業

・「ゆかた de 盆美」

期間 7月中旬～8月下旬

内容 ゆかた、甚平、和服着用で来館すると観覧料無料とするイベント。

(2) 館外イベント出展事業（アウトリーチ活動）

4 調査研究活動

(1) 令和8年度特別展に向けた調査研究

・出品盆栽家の選定、作品選定、出品方法検討

・普及プログラムの作成

・図録の作成及び原稿執筆

(2) 大宮盆栽村関連資料の調査

・既存資料及び新規寄贈資料等の調査

・関連資料の目録化

(3) 令和9年度特別展・企画展の開催に向けた調査研究

・テーマ検討、決定

・関係資料の調査研究

・普及プログラムの検討・計画

5 さいたま国際盆栽アカデミー

(1) 日本人向け初級コース

講座数	全7回 内訳：講義3回、実技4回
開催時期	6月～令和9年3月
クラス数	1クラス
定員	16名

(2) 日本人向け中級コース

講座数	全8回 内訳：講義3回、実技5回
開催時期	9月～令和9年3月
クラス数	1クラス
定員	12名

(3) 日本人向け上級コース

講座数	全11回 内訳：講義4回、実技7回
開催時期	6月～令和9年3月
クラス数	1クラス
定員	6名

(4) 外国人向け中級コース

内容	大宮盆栽村盆栽園主による講義・実技
講座数	全1回 ※1回2時間程度
開催時期	9月～令和9年3月 ※事前予約制
開催数	2回 (1回1組)
定員	2組 (1組30名未満)

(5) 外国人向け上級コース

内容	大宮盆栽美術館における培養管理の現地研修
開催時期	相談に応じる
期間	相談に応じる
対象	姉妹館提携先職員
定員	1～2名

※文中の下線部は令和7年度第1回運営委員会から変更した箇所。